



保育園の雪だるま

地域自治センターだより

平成23年/2011
3.16 | No.24 |



武石ともしび博物館 アイスキャンドル祭

2月6日、武石ともしび博物館では、第12回アイスキャンドル祭が開催され、家族連れなど約200人が訪れました。

午後6時の開場後、来場者が、灯りを楽しむ会や武石児童館を利用する子どもたちが作った約460個の氷灯籠に火を灯しました。すると、庭園内は氷灯籠のやさしい光に包まれ、幻想的な景色が広がりました。灯りを楽しむ会が企画した豚汁サービスやクイズに答えて参加する景品抽選会なども好評でした。



武石地域の買い物事情

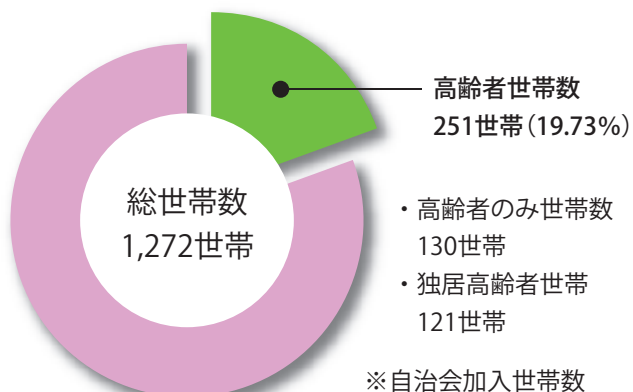
「買い物難民」
こんな言葉を聞いたことが
ありませんか？

不況による大規模店やスーパーの撤退。
後継者難や大規模店の出店の影響による個人商店の閉店。
今までは、歩いて買い物に行かれたのに…。
自動車を運転できる人がいない世帯、
特に高齢者だけの世帯などにとっては深刻な問題です。
高齢化が進む武石地域はどうでしょうか？
武石地域の買い物事情を考えてみます。

武石地域の高齢化の状況

近くに歩いて行かれる店舗がなくなってしまう場合、どのように買い物に行きますか？
多くの家庭では、自動車があり、多少遠くても買い物に出かけられますが、自動車が運転できない高齢者だけの世帯や高齢者の独り暮らしの世帯では、日用品を簡単に買いに行くことができません。武石地域における高齢化の状況は、次のとおりです。
武石地域の世帯のうち65歳以上の高齢者だけの世帯が、約20%を占めています。また、高齢化率も10年前と比較し、3・14ポイント増加しており、今後さらに高齢化が進むことが予想されます。

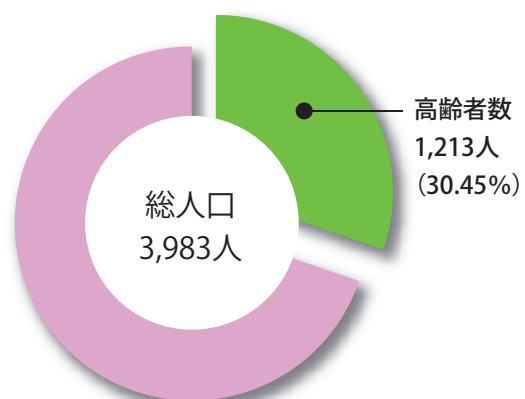
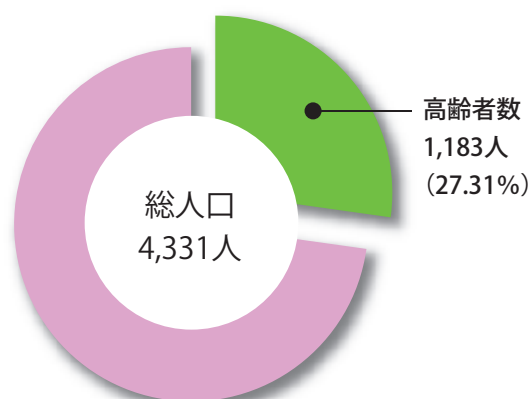
武石地域の高齢者(65歳以上)世帯数
【平成22年10月1日現在】



武石地域の高齢化率(65歳以上人口)の推移

【平成12年11月1日現在】

【平成22年11月1日現在】



買い物環境に関するアンケート結果から

平成22年9月に長野県が県内に住む65歳以上の高齢者6,000人を無作為抽出して実施した「買い物環境に関するアンケート」の調査結果によると、自動車を利用しない方の場合、よく利用する店舗までの距離が1キロ以内であると回答した割合は移動手段別に、徒歩の場合が約75%、

武石地域の店舗の状況

武石地域内で飲食料品や生活衣料品、日用品などが購入できるのは次の店舗などです。
(五十音順)

大平商店	余里
栗栖農園	沖
コメリ武石店	沖
ジェイエイ武石店	七ヶ
新保商店	七ヶ
中屋製菓	下本入
はすてる2	沖
ショッピングセンターピロ	沖
三葉屋酒店	七ヶ
ノリ薬局武石	沖

これらの店舗は、地域の身近な買い物に対応し、地域になくてはならない存在となっていますが、平成22年8月、ジャスコ武石店が撤退したことは、地域の買い物環境に大きな影響がありました。
ある独り暮らしの方は「買い物は、自由にできるといいうわけにはいきません。でも、家まで配達してもらえたり、送り迎えをしてもらえたり、いろいろな方に協力してもらえるので助かっています。」と話していました。

武石で買い物…便利？不便？

上田市の取り組み

デマンド交通事業

市では、市民の移動の利便性向上のため、デマンド交通事業を実施しています。

この事業は、自宅の玄関前から目的地の玄関前までの間を1回300円で送迎するサービスで、武石地域内や丸子地域の店舗への買い物で利用する方にも好評です。しかし運営は厳しく、平成21年度には、収支の差額が1,300万円を超え、利用1回1人あたりにすると約1,300円を市が負担しています。

デマンド交通事業の状況

年 度	事業経費	利用料金収入	市負担額	延べ利用人員		
				一般利用者	通園通学利用者	合 計
H22 (見込み)	15,200,000円	2,000,000円	13,200,000円	7,200人	2,800人	10,000人
H21	15,417,283円	2,104,850円	13,312,433円	7,424人	2,533人	9,957人
H20	15,110,396円	2,345,750円	12,764,646円	7,604人	2,559人	10,163人

利用が増えることで経営が安定し、より便利な運行ができるようになります。
まだ利用したことがない方も、ぜひご利用ください。



安全運転で運行中

店舗の取り組み

配達・送迎サービス

武石地域の多くの店舗では、配達サービスを行っています。

ジェイエイ武石店では「困っている人がいたら、自分が助けなければいけない。

商品を届けて喜んでもらえることが自分にとって嬉しいことです」と、配達サービスや店舗までの送迎サービスを積極的に実施しています。最近では、配達を利用する方が、配達してもらう量が少ないと申し訳ないからと、近所の集まりがあるときに注文を取りまとめてくれることもあるそうです。

また、武石地域内の店舗のほかにも、移動販売車による販売や生協などが行う食材配達など、遠くまで買い物に行かれない方にとっては重宝されています。



玉ねぎと大根をお届け

武石地域では、買い物についての不安や不便を解消し、より買い物しやすい地域であるために様々な取り組みや助け合い活動が行われています。また、新たな取り組みも検討されています。

これらの取り組みを紹介します。

地域での取り組み

助け合い活動

寿楽荘では、ボランティア活動グループいすみ会のいきいきサロンが毎週開かれています。この日は、岸田達さん(82歳)が、自動車を運転できない桜井あきいさん(92歳)と浅野千代さん(89歳)を乗せてきてくれました。このサロンでは、お茶を飲んで話をしたり奉仕活動をしたり、皆さん楽しみにしています。また、この日に恒例になっているのが買い物です。帰る頃になると、食材などの買い物に出かけます。桜井さんは、「岸田さんが迎えにきてくれるので、楽しいお茶飲みと買い物ができて嬉しいし助かります」と話していました。また、岸田さんは、「私が運転できるうちは、送迎を続けますよ」と話していました。



皆さんも参加しませんか？

助け合い活動は、地域の大きな力であり、宝ですね。

上田市社会福祉協議会の取り組み

ご利用聞きサービス事業

高齢者や身体障害者が生活で感じている「ちょっとした困りごと」。
ご近所の助け合いにより支援していく有償の福祉サービスです。
※利用希望者は事前に登録が必要。

買い物に行くことができない方に代わっての買い物なども請負います。
利用料金は、30分あたり200円と交通費1kmあたり20円がかかります。
事業に協力していただける協力会員も募集中です。



USATAMA

買い物しやすい 武石地域であるための 取り組み・活動

上田市商工会の取り組み

絆を深めるために

武石村商工会と丸子町商工会が合併して発足した上田市商工会では、丸子地域の会員などが中心となって日常生活における絆を深めるための事業が検討されています。

この事業の中では、丸子町商工会との合併メリットを活かし、丸子地域との連携による買い物手段についても検討されています。

武石地域では、様々な人々が買物の利便性を向上させる取り組みや活動を行い、この買い物手段の活用が「買い物難民」を作らない大きな力になっています。

しかし、新たな取り組みを検討している中で、思うような展開ができなかったり、店舗では、配達に係る経費の負担や地域外の大型店などへ買い物客が流出することにより今後の経営を不安に感じたりと、まだまだ解決しなければいけない課題があることも事実です。

生活していく上で、買い物は切り離すことができません。これからも市や各種団体、そして地域の皆さんが協働し、武石地域の買い物環境を向上させていきたいですね。

ジャスコ武石店撤退後の後利用

ショッピングセンターピコは、平成22年8月にジャスコ武石店の撤退により半分ほどの敷地が空き店舗となっています。

この店舗を所有する㈱武石ショッピングセンターでは、地域の要望に沿うような今後の利用について検討しています。



シャッターが開く日が待ち遠しい



成人式 ～ 夢と希望を胸に ～



1月9日、武石公民館で成人式が行われ、今年の武石地域の対象者43名のうち39名が式典へ参加しました。
式典では、新成人全員から家族などへの感謝の言葉や20歳を迎えての抱負を交えた自己紹介があり、その表情は夢や希望に満ちあふれていました。

新成人を代表して、小林駿平さんから「武石地域の自然は、最大の魅力であり、かけがえのない財産。武石で学んだ人との繋がりの大切さや温かさと共に私たちが守り、次の世代に伝えていかなければならない。」と頼もしい誓いの言葉がありました。

武石公民館だより

No.24

岡 武石公民館 TEL 85-2030

第18回 ともしびの里芸能祭

2月20日、武石公民館で第18回ともしびの里芸能祭が開催されました。

例年に比べ、小、中学生の出演も増え、家族で鑑賞に訪れる姿も多くみられました。また、出演するお母さんを応援するお子さんからの声援で会場内は笑いに包まれ、和やかな雰囲気の中、24団体が日ごろの練習の成果を披露しました。



新しく委嘱された
武石地区の

民生児童委員
主任児童委員
の皆さんです。

お気軽にご相談ください。

〔任期〕平成22月12月1日～

平成25年11月30日

担当自治会	氏名
鳥屋	高田 忍
沖	竹内 充江
藪合	佐藤美奈子
中島	樋沢 尚一
七ヶ	依田 保
片羽	玉崎 規江
堀之内	北沢 武
市之瀬	荻原 朝子
下本入	宮下 賢吾
権現	下村 孝明
下小寺尾	新井 徳
上小寺尾	伏見 和枝
唐沢小原	竹内 捷一
築地原	柳沢 裕子
大布施巢栗	
西武	
小沢根	
余里	
主任児童委員	

第10回 1月20日開催

●新自治会長に対する武石地域全域公園化構想の働きかけについて

平成23年1月13日に行われた新自治会長会において「武石地域全域公園化構想の取組み」が議題とされ、地域協議会長が出席して説明をしたことが報告されました。

地域の自然や景観を大切にし、できることから環境美化に努めていくために次の3点を自治会にお願いしました。

1 武石に適した花木として①コブシ②ヤマボウシ③サルスベリ④ハナモモ⑤モミジ⑥ツツジを選定。これを参考に自治会や地域で植えて育てる花木を決めていただきたい。

2 自治会でこれまでに実施している環境保全や美化の取り組みを継続するとともに、新しく地域をきれいにする取組みを検討いただきたい。

3 わがまち魅力アップ応援事業の申請を検討いただくとともに、申請した自治会も含めて事業内容に環境の保全と美化、花木の植栽などを入れていただきたい。

●市からの諮問事項

『第1次総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて』

前回までの協議を基に事務局で作成した見直し案について、具体的な文言や表現の検討を行いました。

第11回 2月17日開催

●市からの諮問事項

『第1次総合計画「地域まちづくり方針」の答申について』

9月に市から諮問され、5回にわたり検討してきた「地域まちづくり方針」について最終的なチェックを行い答申案にまとめました。

来る3月22日に、市内9地域協議会の代表が一堂に会して市長に答申する予定です。

●平成23年度わがまち魅力アップ応援事業の応募状況と選考方法について

本年度の応募状況と選考方法について事務局から説明がありました。自治会対象の個性あるふさとづくり応援事業は7自治会、団体対象の特色あるまちづくり事業には3団体の申し込みがあることが報告され、選考は3月17日に実施することが決定されました。

武石のいいところ みつけた♪

武石保育園児の体験記 ～1年間のまとめの巻～

今年1年、地域の皆さんのご協力により、年長児たちを中心に様々な体験ができ「武石のいいところ」をたくさんみつけて、たくさん感じることができました。ありがとうございました。



武石焼見学



水彩画



トトロの家作り



ろうそく作り



雑巾縫い



サツマイモ掘り



わらでつぼう作り



野焼き(焼き物)

遊びながらふるさと学習

武石小学校 ふるさとカルタ大会

1月21日、武石小学校では恒例のふるさとカルタ大会が開催されました。大会は、各学年が入り交じった班に分かれ、2チームの児童が各教室で学年ごとに対戦します。放送を使って札が読まれ、見事にカルタを取ると「いいぞ!」と、同じ班の仲間から声援が飛び交います。「がんばって」と励ます声援が聞こえると札を探す目も一段と真剣になります。

このカルタは、昭和63年度の児童が作ったもので、20年以上の歴史



があります。20年過ぎると、未来に残したい武石の新しい魅力も増え、6年生の児童からは「新しいカルタを作りたい」と提案があったようです。近い将来「新ふるさとカルタ大会」が開催されているかもしれませんね。



今年の健康と豊作を願って

武石保育園 どんどこ焼き



1月13日、武石保育園でどんどこ焼きが行われました。

前日園児たちは、まゆ玉作りや園庭でのやぐら作りのお手伝いなど準備しました。まゆ玉は、はさみを器用に使ってカボチャやキュウリ、米の花などの形に作り、できたものを柳の枝へ差しました。



当日は、やぐらに火がつくと、園児たちは少し興奮気味でしたが、まゆ玉を焼いてくれる先生を「先生、がんばれ!」と、大きな声で応援しました。

焼きあがったまゆ玉を食べた園児は、「なんか元気が出てきた気がする」と、話していました。



赤鬼・緑鬼をやっつけろ! 武石保育園 豆まき



2月3日、武石保育園で豆まきが行われました。

「鬼をやっつけてやるぞ!」と意気込んで豆を投げる練習をしていた子も、ホールが暗くなるとだんだんと不安な表情になっていきます。太鼓の音とともにおこりんぼ鬼の赤鬼といじ悪鬼の緑鬼がやってきました。鬼たちが暴れだすと、子どもたちはホール内を逃げ回ったり、先生にしがみついたり大騒ぎです。怖いながらも鬼たちに豆を投げつけると、鬼たちは外へ逃げていきました。

安心して園児の前に、今度は福の神が春を運んでホールへ現れました。園児たちは、福の神のまく花びらを大事にしまい、嬉しそうにしていました。

